

# 令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

学校名【 豊田市立御作小学校 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	全校児童 45名 6クラス
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（ 特別の教科 道徳 ）</p> <p>② 行事名（ 寺本明日香選手から学ぶ会 ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 (ねらい)	本校児童が、オリンピックのトップアスリートによる講話や実技体験（見学）を通して、夢の実現に向けて努力することの大切さや素晴らしさを知るとともに、夢や目標を定め、これからの自分の人生をよりよくしていこうとする意欲を育てる。
5 取組内容	<p>(1) 【事前学習 低学年】</p> <p>① オリンピックについて知る オリンピックの目的や、五輪マークの色などをクイズとして出題することでオリンピックについて知り、興味・関心を高めた。</p> <p>② 寺本明日香選手について知る 演技の動画などの視聴を通して寺本明日香選手を知ること、体操競技や選手に興味関心をもち、意欲的に質問の内容を考え、来校に向けての準備を行った。</p>



## (2) 【事前学習 高学年】

### ① オリンピックの精神に触れる

オリンピックの精神「スポーツを通して心身を向上させ文化・国籍など様々な違いを乗り越え、友情、連帯感、フェアプレーの精神をもって、平和でよりよい世界の実現に貢献すること」（東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会HPより）を知ることで、オリンピック・パラリンピックの意義をとらえる。



### ② オリンピック選手の凄さを体験する

オリンピックの記録や演技内容について触れることで、記録の偉大さや演技内容の難しさを知り、オリンピックを尊敬する思いを高める。

### ③ 寺本明日香選手について知る

寺本選手取材した番組から寺本選手の演技の内容や怪我による挫折、またそこからの復帰に向けて努力する姿を知り、感じたことや思ったことから質問の内容を考える。

## (3) 【講演会】

女子体操日本代表の寺本明日香選手を講師として招聘し、全校児童が授業を受けた。

前半では児童によるパネルディスカッションを実施した。事前学習の際に考えた質問を代表児童数名によって寺本選手に投げかけた。寺本選手の体操競技にかける思いや、夢に向かって努力する姿勢を児童たちは共感しながら学ぶことができた。



後半では、寺本明日香選手による演技披露や代表児童数名との体操対決を行った。より近い距離で対話し、寺本選手についてより深く知ることで、前半で学んだことを更によいものにすることができた。



<p>6 主な成果</p>	<p>(1) 【事前学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• オリンピック・パラリンピックは、様々な思いが込められている大会であることに気付くことができた。</li> <li>• 講演会前に講師への興味関心を最大限に高めることができた。更に高学年は寺本選手を自分と比較しながら調べることができた。</li> </ul> <p>(2) 【講演会（児童の感想より）】</p> <p>① 低学年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 僕も体操をやりたくなった。寺本選手みたいになりたい。</li> <li>• 私が諦めそうになった時、寺本選手が言ってくれた言葉を思い出したい。</li> <li>• オリンピックでは寺本選手のきれいな倒立を見られるのがとても楽しみ。</li> </ul> <p>② 高学年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 寺本選手に「ありがとうの反対は当たり前」だということを学んだ。周りの人の協力や助けによって今の当たり前があることを感じた。私も周りの人に感謝できる人になりたい。</li> <li>• 寺本選手の言葉のなかに「体操が嫌になってもとにかく練習場に行く」というのがあった。たとえ気分が落ち込んでいても少しでもレベルアップしようとする姿勢がとても魅力的だった。</li> </ul>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>(1) 【事前学習 低学年】</p> <p>質問の質を高めるために、グループになって質問の共有をする時間を設けた。1～3年生が合同になって質問を考えたり共有したりすることで、オリンピックや体操競技に関連した質問を考えることができた。</p> <p>(2) 【事前学習 高学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 寺本選手の「自分が立てた目標に向かってひたむきに努力し続けることができる姿勢」と「挫折からの立ち直りが早く、常に自分にできる最大限を探ることができる姿勢」の2点を効果的に学ぶために、まずは体操競技の難しさや精緻さを倒立や平均台を体験することで、選手を尊敬する気持ちや驚きの気持ちを膨らませた。</li> <li>• 幅広い質問ができるように寺本選手を知るための紹介やビデオを視聴して感想を考えた。その後に感想を踏まえた質問を考えることで、自分と比較したものにするができた。</li> </ul>

	<p>(3) 【講演会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童主体で会を進行することができるように、児童会や高学年児童への支援を学校全体で行った。自分たちで学んでいるという実感をもつことで主体的な活動にすることができた。</li> <li>体操競技をより身近に、安全に見たり体験したりできるように近隣の大学（中京大学体操競技部）や近隣の小学校から用具を借り環境を整えた。動画だけでなく実際に見たり感じたりすることで児童の興味が広がり、オリンピックスポーツへの関心が深まった。</li> </ul>
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践が短期集中的なものになってしまった。年度初めから徐々にオリンピック・パラリンピックへの関心を高めるための取組を行うことで、さらに主体的にオリンピック・パラリンピックに関わる児童を育成することができたと感じる。</li> <li>本事業の成果をより高めるために今年度の取組によって築いたアスリートとの関わりを地域へ広げ、継続したい。</li> </ul>
9 来年度以降の実施予定	<p>オリンピック後に寺本選手に来ていただき、感じたことや新たに思ったこととお話していただくことを予定したい。</p>